

表現力

身体表現(演技)

●対象学科

映像

●対象入試区分

表現力入試

●出題意図

「演技をする力」は、「人間力」の大切な一要素だと考えます。

この試験は、個々の身体的なセンスや運動能力を問います。また、与えられた課題から想像力を広げることができるのかを採点のポイントとし表現者としての可能性を見る試験です。

●評価のポイント

・理解力

課題に対して実感を持って取り組んでいるか。

・意欲性

課題に対して積極的に取り組んでいける力があるか。

・コミュニケーション力

質問の意味を正確に理解し、的確に自分の考えを答えることができるか。

●演技試験

与えられた課題について、からだ・声を使って表現しなさい。

●条件

課題は、試験場において、試験監督者がペーパーで渡すものとする。

●注意

動きやすい服装で来てください。(制服可)

●試験の流れ(試験時間:約15分)

1. 課題用紙配布

基本的な音声：次の内容をはっきりと述べて下さい。

受験番号()番(氏名)です。出身は(都道府県名)で、学校は(学校名)高校を卒業する予定です。年齢は()歳です。

2. 課題用紙の説明

与えられた時間の中で演技・身体表現を行う。

5分の準備時間中で考える。演技時間：3分間

3. 質疑応答を行う。

問題内容

▶課題例①

次の設定を踏まえた上であなたが場面を作り、動作・声で演技を行なって下さい。

【設定】

「気分が良いときに、気分が悪くなる状況が起きた」

部屋に入って来る主人公。風呂から上がり心地よい時間を過ごしている。電話が鳴り、誰かが電話をかけて来た。受話器を取って話し始める。借金の催促だった。(話の内容と相手は自身で考える)通話が終わり受話器を置く。



これは、風呂から上がって来た主人公が冷蔵庫を開け飲料を取り出そうとしている動きです。からだを大きく使って状況説明とテーマである「気分が良いときに、気分が悪い事が起きた」の「気分が良い空間」をのびのびと伝えようとしている演者の意思が読み取れます。

▶課題例②

次の設定を踏まえた上であなたが場面を作り、動作・声で演技を行なって下さい。

【設定】

「怒りたいが、嫌われたくない。」

暑い夏、渋谷の駅前で主人公が恋人を待っている。もう1時間も待っているのに相手は来ない。

すると遠くから、待っている恋人がやって来た。主人公は怒りたいが恋人に嫌われたくないという感情で声をかける。そして二人でどこかへ去って行く。(話の内容を自身で考える)



テーマ「怒りたいが、嫌われたくない」という主人公の心の中の葛藤を体で表現しています。少しオーバーアクションですが、見ている側に笑いを誘発させる効果があります。